



www.hodogaya.co.jp/

**HODOGAYA
CHEMICAL**

化学で夢のお手伝い

Your Dream is
Our Business





VISION

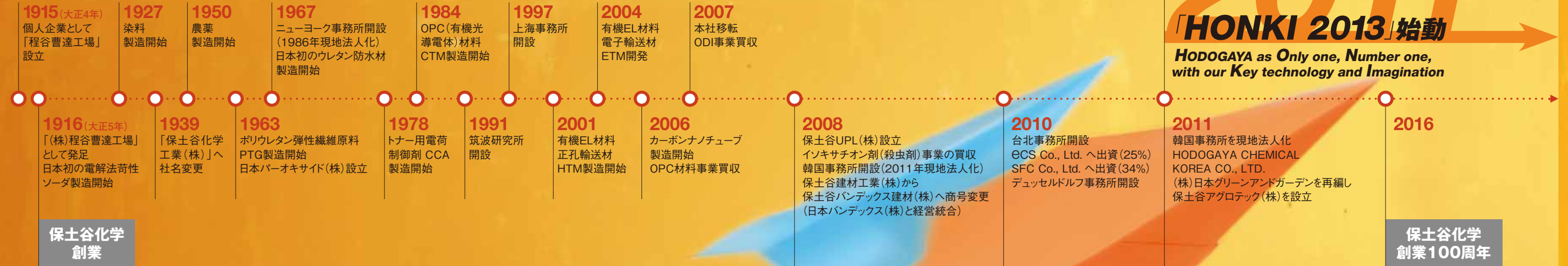
化学のちからで、あしたを描く。

**環境と調和する、
もっと進んだ暮らしと社会のために。
保土谷化学は技術を磨き続けます。**

世の中の、いろんな便利さや快適さ、やさしさを支えているもの。それは化学のちからです。化学は、くらしや社会の基盤となる、さまざまな材料を創り出す技術。ファッションや食品、家具や住まい、医薬品や最先端のIT機器にいたるまで、化学のちからが支えているのです。保土谷化学は、創業以来95年以上にわたって、高度な化学技術で時代のニーズや未来の夢をかたちにしてきました。有機合成技術と高分子化学技術の蓄積から生まれた多様な製品は、くらしと社会の幅広い分野に活かされ、便利さや快適さを生み出し続けています。これからの時代に求められる、環境と調和したくらしと社会に貢献する高機能・高付加価値創出型企業をめざして。

保土谷化学は化学のちからであしたを描き続けます。

奇性ソーダから電子材料まで。
保土谷化学の歴史は、化学技術の進歩の歴史です。



来るべき創業100周年の「ありたき姿」に向かって。
現有分野の成長・育成と次世代事業の創出を推進し、
これからも社会の進歩と夢の実現に挑戦し続けます。

保土谷化学は1916年、日本で初めて電解法奇性ソーダを製造する企業として誕生しました。やがてポリウレタンなど機能性樹脂材料の原料となるホスゲンの生産にも着手。くらしと社会を支える化学企業としての礎を築きました。それから95年以上、保土谷化学は染料から農業、医薬中間体、ウレタン樹脂材料、情報記録材料まで、時代のニーズに応えるさまざまな製品を生み出し続けています。その製品群は、衣食住遊医・産業のすべての分野をカバーしているのです。そして、保土谷化学はいま、新時代の創造へと向かっています。来るべき創業100周年の「ありたき姿:グローバル・ニッチ分野でオンリーワン・ナンバーワン」の確立に照準を合わせた新たな中期経営計画「HONKI 2013」を推進。将来の飛躍に向けて「成長」「育成」「創出」の3つのフェーズに分けて事業拡大に取り組みます。有機EL材料、電子材料など現有分野のさらなる成長と育成によりオンリーワン・ナンバーワンの地位確立をめざすとともに、環境・エネルギー分野を中心に新たなテーマの創出に注力。産官学連携や大学・研究機関との共同研究などを積極的に行い、次世代の有力事業へとつなげていきます。保土谷化学は、社会の進歩を化学で実現するために、これからも未来と夢への挑戦を続けます。

保土谷化学は、
次代への変革を加速します。



グループ経営理念

私たちは、化学技術の絶えざる革新を通じ、お客様が期待し満足する高品質の製品・サービスを世界に提供し、環境調和型の生活文化の創造に貢献します。

著しく変化する社会・経済環境の中、
「グローバル・ニッチ分野で、オンリーワン・
ナンバーワン素材を提供し続ける企業」を
目指します。

私たち保土谷化学グループは、1916年の創業以来、95年を超える歴史により培われた技術を基に、様々な製品・事業を展開してまいりました。

近年では、より高度化していく技術革新に対応するべく、機能性色素分野・機能素材応用分野といった各種スペシャリティ製品を中心とする事業構造へと転換、現在も、そのさらなる強化に取り組んでいるところです。

社会・経済のグローバル化が、より一層そのスピードを上げている現在、保土谷化学グループを取り巻く社会・経済環境も著しく変化しています。そのような中、保土谷化学グループは「グローバル・ニッチ分野で、オンリーワン・ナンバーワン素材を提供し続ける企業」を目指し、事業面では、将来の成長に向けた事業拡大・新製品の創出と、それを支える基盤事業の強化を行ってまいります。その際に必要不可欠となる、国内・海外のお客様に密着した、効果的な事業展開も併せて推進いたします。

また、環境、社会、経済に関わる課題につきましても、CSR(企業の社会的責任)の一環として、環境負荷物質・温室効果ガス排出量の削減、顧客満足度の向上、「安全」に関する情報公開の取り組みなどを通じて、常に社会の一員として、自らの責任を強く意識した企業活動を推進してまいります。

保土谷化学グループは、「化学技術の絶えざる革新を通じ、お客様が期待し満足する高品質の製品・サービスを世界に提供し、環境調和型の生活文化の創造に貢献する」という経営理念の下、全てのステークホルダーや環境との調和を図り、価値ある製品・サービスの創出を通じて社会の発展に貢献するとともに、企業としての社会的責任を果たすべく、今後ともグループをあげて努力してまいります。

皆様方におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
喜多野 利和

独自の基盤技術で3つのちからを駆動する。

次の時代に貢献する“価値創造”が始まっています。

次代の生活文化に貢献する高機能・高付加価値創出型企業をめざし、保土谷化学はいま、ダイナミックなイノベーションを推進しています。ベースとなるのは、独自の基盤技術と長い歴史の中で蓄積された3つのちから。伝統ある「有機合成力」「高分子合成力」「機能素材応用力」が、独自のR&Dを進める「研究開発力」、質の高い製品を安定供給する「生産技術力」、お客様の課題を解決する「価値創造力」を駆動することで、オンリーワン・ナンバーワンに向かって躍進し続けます。常にお客様の期待以上の価値をお届けするために、保土谷化学の創造スパイラルは回り続けます。

研究開発力

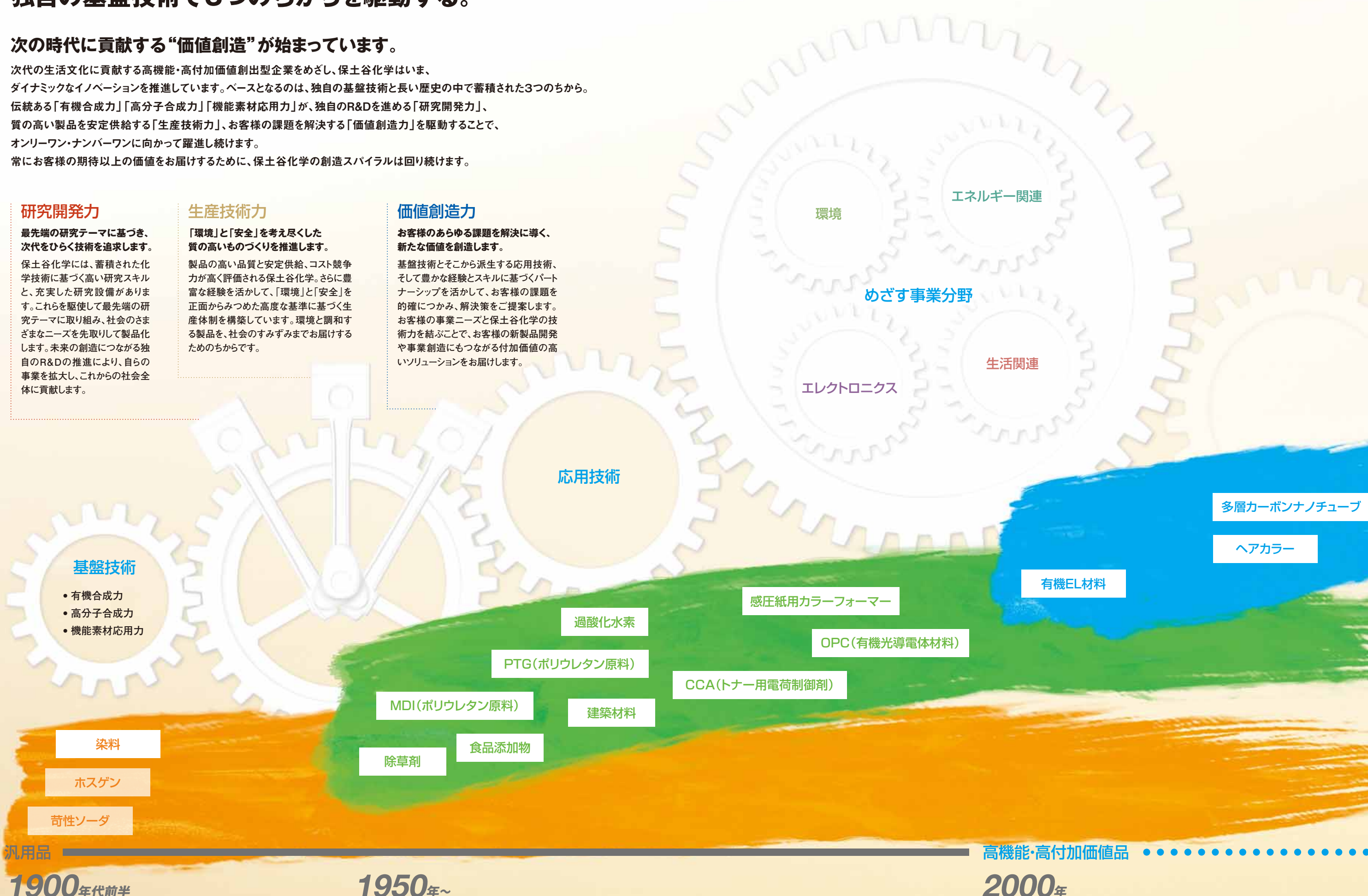
最先端の研究テーマに基づき、次代をひらく技術を追求めます。保土谷化学には、蓄積された化学技術に基づく高い研究スキルと、充実した研究設備があります。これらを駆使して最先端の研究テーマに取り組み、社会のさまざまなニーズを先取りして製品化します。未来の創造につながる独自のR&Dの推進により、自らの事業を拡大し、これからの社会全体に貢献します。

生産技術力

「環境」と「安全」を考え尽くした質の高いものづくりを推進します。製品の高い品質と安定供給、コスト競争力が高く評価される保土谷化学。さらに豊富な経験を活かして、「環境」と「安全」を正面からみつめた高度な基準に基づく生産体制を構築しています。環境と調和する製品を、社会のすみずみまでお届けするためのちからです。

価値創造力

お客様のあらゆる課題を解決に導く、新たな価値を創造します。基盤技術とそこから派生する応用技術、そして豊かな経験とスキルに基づくパートナーシップを活かして、お客様の課題を的確につかみ、解決策をご提案します。お客様の事業ニーズと保土谷化学の技術力を結ぶことで、お客様の新製品開発や事業創造にもつながる付加価値の高いソリューションをお届けします。



汎用品

1900年代前半

1950年~

高機能・高付加価値品

2000年

VALUE INCUBATION
[価値起動力]

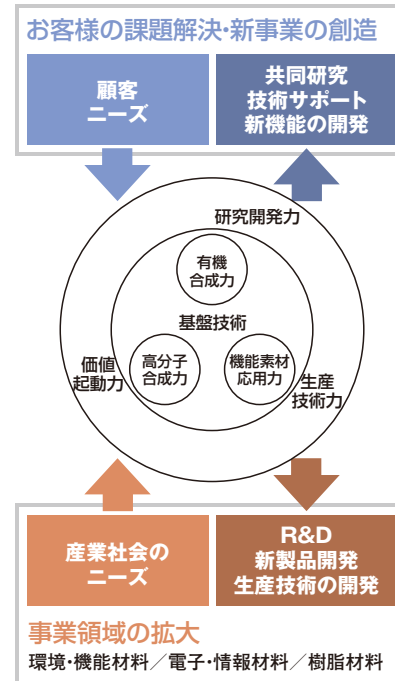
**顧客ニーズから新たな事業を生み出す、
人と技術のソリューション。**

顧客ニーズと独自の技術のカケ算から、求められる価値を創造します。

保土谷化学の製品は、独自の機能を付加することで、お客様の事業課題を解決することが可能です。たとえば扱い易さを高めたい。自動車部品にもっと耐久性がほしい。より高効率で寿命が長い電子部品をつくりたい…。保土谷化学ではこうしたお客様のニーズに対応し、営業と技術陣が一体化した開発チームを編成。時にはお客様との共同開発体制で、求められる機能を備えた材料を実現し、新製品開発や既存製品のバージョンアップに貢献します。お客様のニーズの数だけ、新しい価値を創造するソリューションをお届けするので

お客様の事業創造につながる、ソリューションビジネスの推進。

こうした課題解決のバックボーンとなるのが、長い歴史が磨きあげた“人”の力と、3つの基盤技術。保土谷化学には、技術を知り尽くした営業スタッフと、クイックレスポンスを可能にする営業体制があります。3つの基盤技術に加え、そこから派生した応用技術と、さまざまな製品化につながる膨大な化学材料の組成や変化についてのノウハウがあります。きめ細かなサポートと豊かな技術資源の組み合わせにより、お客様の課題を解決し、新製品の土台をつくる事業創造型のソリューションが可能。保土谷化学は、人と技術の両面から、お客様の事業拡大に貢献します。



RESEARCH & DEVELOPMENT
[研究開発力]

**歴史が培った基盤技術から、
創造力のビッグバンがはじまります。**

**産業社会のニーズに応える、
総合力を活かしたR&D。**

95年以上の歴史の中で熟成した技術をベースに、基礎化学材料から最新の電子材料まで、幅広い分野の研究・開発を進める保土谷化学のR&D。多様化する産業社会のニーズをいち早くとらえ、さまざまなお客様の異なるニーズに即応できる研究・開発が進んでいます。産業の広範な領域をカバーする長年の研究活動によって育まれたスキル・ノウハウをカタチにすることで、まったく新しい機能を備えた製品や、生産技術を開発できる。それが保土谷化学のR&Dです。

**技術資産の応用展開により、
機能性材料分野の事業を広げます。**

独自の技術資産を最大限に活かして、保土谷化学ではいま機能性材料分野の事業拡大に積極的に取り組んでいます。たとえば携帯電話やテレビの次期ディスプレイとして期待される有機EL材料では、高効率で長寿命が特長の正孔輸送材の製造技術を確立。さらに電子輸送材料の輸送速度を格段に速くすることで、有機EL製品の液晶に対する競争力を高める研究を進めています。また、プリンターのカラー化に最適なトナー用電荷制御剤の製品化を推進。こうした研究活動の成果を活かして、保土谷化学は高機能・高付加価値の事業を広げていきます。

**筑波研究所は、未来の技術開発の
ベースキャンプです。**

保土谷化学の研究・開発は、筑波研究所を中心に、各事業所の開発グループが連携して推進されます。約1万坪の広大な敷地に研究棟を持つ筑波研究所は、最先端の設備を備えた保土谷化学の研究・開発の中核拠点。周辺には日本を代表する企業の研究所、独立法人の研究機関が集まっており、創造的な研究活動を支援する緑豊かな恵まれた環境の中で、将来を担う最先端の研究・開発が進められています。



PRODUCTION [生産力]

「環境」と「安全」をみつめた独自の基準で、 品質と信頼を生産しています。

お客様や社会のニーズに応える質の高い製品を、安定して供給する。

それは保土谷化学にとって当然の約束。保土谷化学では、

さらに環境負荷の低減と安全性の向上をより高度な基準で達成する生産活動に
全社をあげて取り組んでいます。「環境」と「安全」は、私たちが創出する価値の一部です。

信頼性をお約束する、高度な認証を取得しています。

GLP (優良試験所基準)

化学品・農薬などの登録許可に必要な安全性試験を適切に行い、試験データの信頼性を保証するための基準です。保土谷化学は、グループ会社の保土谷コントラクトラボ(株)において、農薬GLP試験、化審法GLP試験で認可を取得し、多くのお客様からの各種試験を受託しています。また、届出申請にも対応しています。



「環境」と「安全」への取り組みを、全社をあげて推進しています。

レスポンスブル・ケア (RC)

レスポンスブル・ケア (RC) とは、「化学物質の製造や取り扱いに携わる企業が、その開発から廃棄に至る全サイクルにおいて、環境・安全・健康の対策を実行し改善を図っていく自主管理活動」です。保土谷化学は1997年にJRCC (日本レスポンスブル・ケア協議会) に入会し、RC理念、RC基本方針を制定し「環境保全と安全・健康と品質の確保は経営の基盤であり、事業活動の基本である」を第一義に推進してきました。毎年、RC基本方針に基づき年度方針を作成し、全従業員がRC活動を推進することにより環境・安全・健康・品質の向上に積極的に取り組んでいます。



ISO9001・14001

いまや、化学産業においてもグローバル化の加速が想定される中、企業活動における品質・環境に関する体制については、国際規格への適応が当然のことと認識される時代になってきています。保土谷化学は品質および環境マネジメントシステムの国際規格であるISO9001、ISO14001に関し、全社統合認証を取得。全社をあげて、環境管理活動および品質向上活動に取り組んでいます。



郡山工場

創業から95年以上の歴史を持つ保土谷化学の主力工場。高付加価値の製品を生み出す重要な生産拠点です。最新のプラント設備を駆使して、電子材料と有機EL材料を中心とした高品質の製品づくりを行っています。



横浜工場

お客様のニーズにあわせた、機能性色素の生産拠点です。危険物物流事業の拡大も進んでおり、収益力の向上により保土谷化学の成長戦略を加速しています。



南陽工場

高度な品質管理体制の下で、高純度・高品質の製品の提供を可能にしています。長年蓄積されてきた確かな技術と充実した最新設備で、PTGをはじめ医薬・農薬中間体、各種建材や工業薬品を製造しています。



「できればいいな」を創るのが、 保土谷化学の仕事です。

「こんなことができればいい」「もっと気持ちのいい暮らしがしたい」・・・

そんなさまざまな夢をかなえていくのが、保土谷化学の仕事。

化学のちからが創り出すのは、大きな満足や豊かな期待にあふれた暮らしです。

保土谷化学のイノベーションは、今日も一人ひとりのあたたかな笑顔にむかっています。

BLUEPRINT FOR THE FUTURE

**保土谷化学の挑戦から、
未来を変えていく技術が
次々と生まれています。**

**[有機EL材料]
有機材料が生ま出す、
紙のように丸められるディスプレイ。**

スマートフォンでも実用化され、大型テレビやカーナビへの応用も期待される有機ELディスプレイ。保土谷化学ではその材料開発に、いち早く取り組んでいます。これは、有機材料に電流を流して発光させるシステムで、キラキラ感のある画像であり液晶ディスプレイに比べて格段の美しさを実現します。また、有機材料を用いるため、どこまでも薄く、掛け軸のように丸めてしまえるディスプレイも開発可能です。有機EL材料の一つである正孔輸送材は、高性能品の市場シェアのほとんどを占めており、電子輸送材も開発を推進中。次世代の進化したディスプレイは、保土谷化学の有機EL材料が創ります。



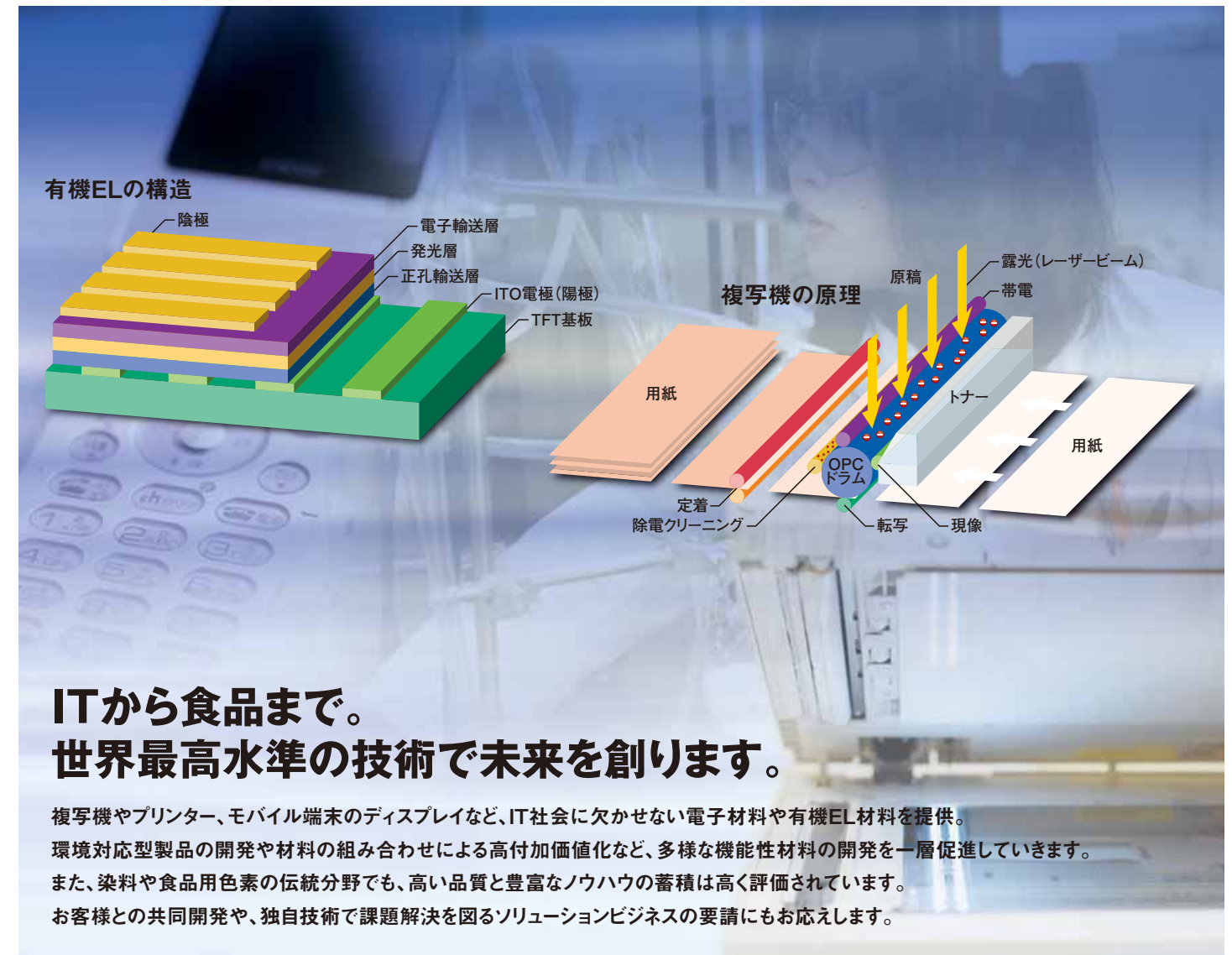
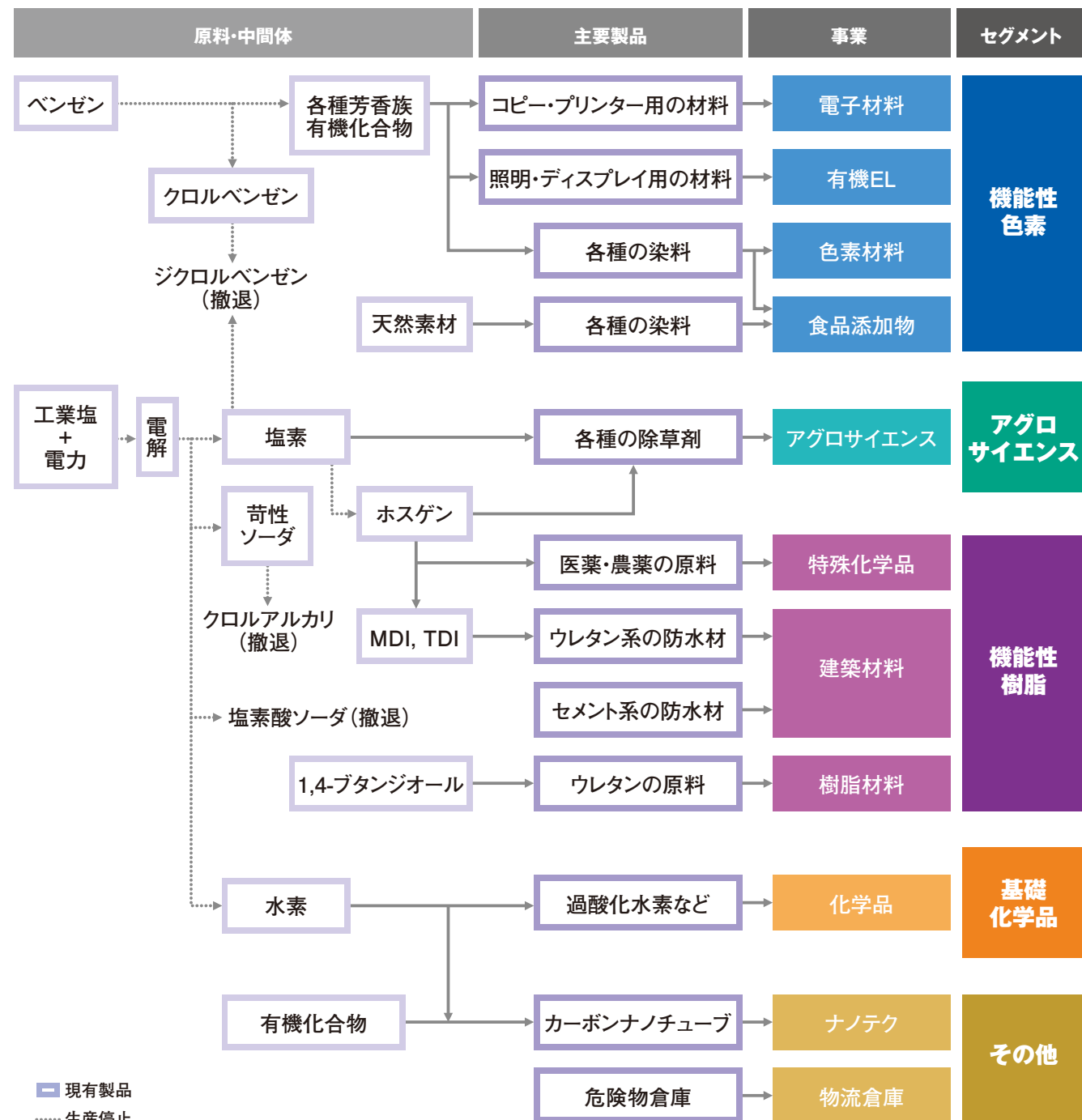
**[CNT 多層カーボンナノチューブ]
プラスチックに無限の機能を！
世界最先端のナノテクノロジー。**

保土谷化学の有機合成技術・生産技術が培ってきた機能素材応用製品の一つに、「カーボンナノチューブ(CNT)」と呼ばれるチューブ状の化合物があります。CNTには、電気を通す、熱を通す、通電により発熱する、電磁波を吸収するなどの多くの優れた性質があります。保土谷化学ではCNTのうち多層カーボンナノチューブを製品化し、これらの優れた特性を活用した複合材料原料を提供することで、皆様の新規材料開発や新規用途展開をお手伝いします。これまでの素材では成しえなかった特性発現が、CNTにより実現される世界がすぐそこまで来ています。多層カーボンナノチューブは、夢の素材です。保土谷化学は、多層カーボンナノチューブとその複合材料でリーディングカンパニーを目指します。



変化する社会のニーズに、化学のちからで応える。 私たちの事業は次代へとひろがり続けます。

有機合成技術、高分子化学技術が創造した原料・中間体から製品が生まれ、そこから新たな製品や技術が派生していく。保土谷化学の事業は、創造活動の連鎖から成り立っています。4つのセグメントに属する数々の事業は、化学が織り成す進化の系統樹の一部です。保土谷化学は、すぐれた機能性材料を提供する高機能・高付加価値創出型企業への道を歩み続けています。私たちの事業は、次の時代へとひろがっていきます。



ITから食品まで。 世界最高水準の技術で未来を創ります。

複写機やプリンター、モバイル端末のディスプレイなど、IT社会に欠かせない電子材料や有機EL材料を提供。環境対応型製品の開発や材料の組み合わせによる高付加価値化など、多様な機能性材料の開発を一層促進していきます。また、染料や食品用色素の伝統分野でも、高い品質と豊富なノウハウの蓄積は高く評価されています。お客様との共同開発や、独自技術で課題解決を図るソリューションビジネスの要請にもお応えします。

機能性色素

電子材料事業

トナーの必須材料であるCCA(電荷制御剤)や、OPC(有機光導電体)材料の電荷輸送材・電荷発生材を提供。お客様に最適な材料提案が可能です。複写機などのカラー化への対応も進めています。

電荷制御剤: 世界シェアNo.1

色素材料事業

携帯電話などのアルミ製品や文具用インキに使用されるスピロン染料では、国内80%のシェアを確保。カチロン染料や紙用染料でも、お客様ニーズにきめ細かくお応えします。

スピロン染料: 国内シェアNo.1

食品添加物事業

日本の食用色素のバイオニアとして、お客様をコンサルティング。化粧品など食品以外の分野でも高く評価されています。安全性へのこだわりで、食添GMPを取得しています。また、ヘアカラー事業への展開も推進します。

有機EL事業

次世代の有機ELディスプレイ材料を提供。お客様の製品にあわせた省電力化・長寿命化など高付加価値化が可能です。スマートフォンなどのモバイルディスプレイに最適であり、当社の戦略事業です。

MAIN PRODUCTS

くらしを快適に、
安心に変えていく、
機能する素材をお届けします。

スポーツウェアのフィット感やあたたかさ、住まいの安心感…
くらしの中のさまざまな快適さを創造しているのが、保土谷化学の機能性樹脂。
固有の技術であるPTGやウレタン系防水材など、質の高い製品を
お客様の製品づくりにあわせたコンサルティングとともに提供しています。
環境性や耐久性、経済性など、多様な価値と高い機能が込められた製品は、
必ずお客様にご満足いただけるでしょう。

機能性樹脂

特殊化学品事業

医薬、樹脂、電子といった分野
でCDI、ODI、クロロホーメート
類などのホスゲン誘導体をは
じめとする高品位化学品を提
供、高いシェアとお客様の満
足を得ております。有機合成
技術を駆使しお客様の求める
特殊な化学品、中間体へもお
応えします。

樹脂材料事業

保土谷化学は、ポリウレタンな
どに弾性や耐久性を付与する
PTGの生産を、世界で2番目
に開始。当社のPTGは自動車
部品や光ファイバーなど先端
分野でも評価されています。



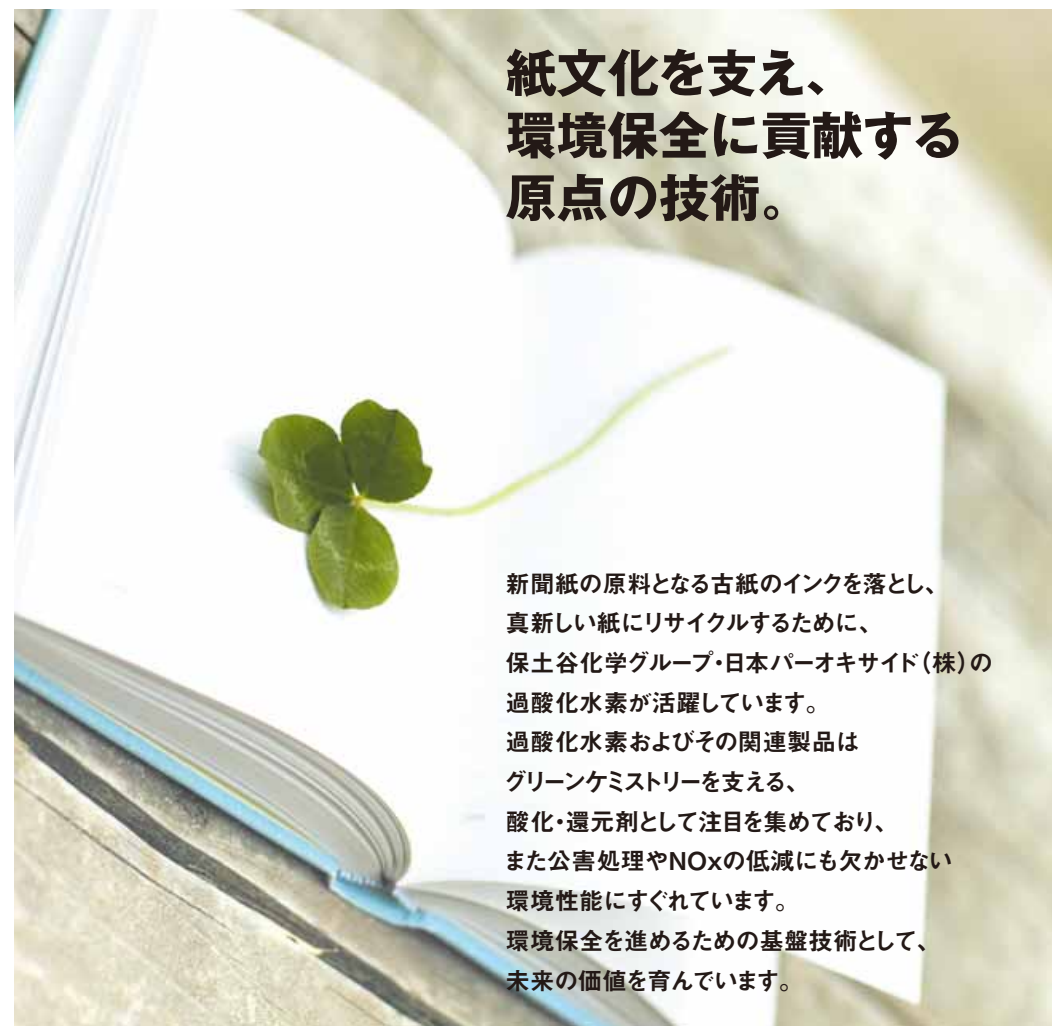
建築材料事業

ビルの屋上や駐車場の防水
に使用されるウレタン系防水
材を提供します。その耐久性
と環境対応は建設業界から高
く評価され、応用分野も豊富。



PTG 価値創造の グローバル スタンダード 素材。

化学のちからで、お客様の製品に新たな付加価値を提供する。保土谷化学
がめざす高機能・高付加価値創出のモデルケースとなるのがPTGです。
PTGを使用すると、最終製品には特別な弾性や耐久性など新しい機能が生ま
れます。お客様のニーズにあわせたPTGをお届けすることで、保土谷化学
は製品の価値を高めるお手伝いをしています。また、当社が開発したPTG製
造プロセスは、世界でも主流になっています。
保土谷化学はPTGを通して、グローバルな価値創造に貢献します。



紙文化を支え、
環境保全に貢献する
原点の技術。

新聞紙の原料となる古紙のインクを落とし、
真新しい紙にリサイクルするために、
保土谷化学グループ・日本パーオキシサイド(株)の
過酸化水素が活躍しています。
過酸化水素およびその関連製品は
グリーンケミストリーを支える、
酸化・還元剤として注目を集めており、
また公害処理やNOxの低減にも欠かせない
環境性能にすぐれています。
環境保全を進めるための基盤技術として、
未来の価値を育てています。

基礎化学品

化学品事業

過酸化水素
環境負荷の少ない酸化・還元剤と
して、紙や繊維の漂白、各種工業
薬品の酸化、IC関連機材の精密
加工、公害処理などの環境浄化
剤、医薬品などに使用されます。

PC(炭酸ナトリウム過酸化水素付加物)

衣料用漂白剤や家庭用の洗浄剤、公害処理などに使用
されます。白色の粒状で固まりにくく、低温溶解性、高発
泡性にすぐれるなどの特性を備えます。

その他の製品

ペットボトルの殺菌などに使用される「オキシペール」や、
プリント配線基盤などの多目的化学エッチング剤など、環
境性と安全性にすぐれた多彩な製品を提供しています。

夢の最先端材料 多層カーボン ナノチューブ

保土谷化学では、「カーボン
ナノチューブ開発推進部」
を中心に、多層カーボンナ
ノチューブの更なる普及に
向け、取り組んでいます。
多層カーボンナノチューブ
は、半導体向け運搬容器に

用いられる導電性材
料、暖房器具や融雪な
どに応用可能な発熱材
料、軽量化や機械強度
の向上が導く自動車・航
空機・スポーツ用品など
に用いられる複合材料
などへの応用が期待さ
れている夢の最先端材
料です。

私たちは、カーボンナ
ノチューブ生産技術だけ
ではなく、各種マトリッ
クス材料との複合化技術
も自社技術として確立
し、将来の主力事業の
ひとつに育成すべく、お
客様の要望に応じ、多
様な用途開発に果敢に
取り組んでいます。

アグロサイエンス

農業を支え、家庭園芸用から緑地の環境保護まで応用できる農業や資材を提
供します。各分野のニーズにマッチした製品の開発・普及を行っており、家庭園
芸用除草剤分野では、すぐれた製品開発力を発揮しています。

家庭園芸用除草剤: 国内シェアNo.1

その他の事業

ロジスティクス

物流と化学を融合し、危険物物流の
分野で豊富な実績を持つのがグルー
プ会社の保土谷ロジスティクス(株)
です。化学薬品を中心とした危険物
の保管を柱に、あらゆる製品の保管、
輸送、通関、流通加工、システム開
発などをトータルにサポート。物流管
理のエキスパートとして、グローバル
な事業の拡大をめざします。

